



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月10日

東

上場会社名 浜井産業株式会社 上場取引所
 コード番号 6131 URL <https://www.hamai.com>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)武藤 公明
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理担当 (氏名)山畑 喜義 (TEL)03-3491-0131
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	5,034	6.3	431	△1.3	423	1.4	421	△5.5
2021年3月期第3四半期	4,735	12.7	437	39.4	417	49.9	445	82.2

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 399百万円(△27.9%) 2021年3月期第3四半期 553百万円(83.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	126.23	—
2021年3月期第3四半期	129.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	7,135	1,964	27.5
2021年3月期	7,121	1,765	24.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 1,964百万円 2021年3月期 1,765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	12.6	520	21.6	500	24.4	490	13.9	147.53

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 詳細は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当社は2021年5月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を取得いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2022年3月期3Q	3,462,400株	2021年3月期	3,462,400株
2022年3月期3Q	189,126株	2021年3月期	20,732株
2022年3月期3Q	3,337,212株	2021年3月期3Q	3,441,698株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デルタ株を主体とする新型コロナウイルス感染症の流行に一旦は収束の兆しが見られたものの、海外におけるオミクロン株の感染急拡大に伴い、年末にかけては国内でもこの変異株の市中感染が散見されました。これが、徐々に正常化されつつあった経済活動に水を差す結果となり、個人消費や雇用環境回復の動きは依然として不透明な状況が続きました。

こうした状況の下、当社グループは、継続して新規販売先の開拓をはじめとする販売力の強化、並びに生産現場の改善・改革を通じた生産性向上に積極的に取り組み、業績は順調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高は5,034百万円（前年同四半期比6.3%増）、営業利益は431百万円（前年同四半期比1.3%減）、経常利益は423百万円（前年同四半期比1.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は421百万円（前年同四半期比5.5%減）となりました。

なお、セグメント別では、当社グループは、1工場で作業機械の製造を行い、販売するという単一事業を展開しております。

そこで、セグメント別の「工作機械事業」としては、上記のとおりですが、以下「機種別」に市場動向、販売状況等を補足させていただきます。

① ラップ盤

デジタル関連の設備投資は、国内外の半導体シリコンウエーハや水晶振動子など光学関連部品加工用設備の売上が堅調に推移しました。

また、SiC（炭化ケイ素）をはじめとするパワー半導体ウエーハ加工用設備の受注並びに売上は増加傾向にあった一方、ガラスハードディスク基板加工用設備の売上は寄与せず、その結果、売上高は2,124百万円（前年同四半期比32.6%減）となりました。

② ホブ盤、フライス盤

ホブ盤では、国内外の釣具関連部品やロボット・自動倉庫等に使用される各種減速機の歯車加工用設備の販売が堅調に推移し、これらの売上が大幅に増加いたしました。そのため、フライス盤の販売は伸び悩んだものの、売上高は1,605百万円（前年同四半期比184.3%増）となりました。

③ 部品、歯車

半導体シリコンウエーハ並びにガラスハードディスク基板加工用の部品・消耗部品の販売が堅調に推移し、売上高は1,305百万円（前年同四半期比27.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は4,173百万円で、前連結会計年度末に比べ70百万円増加しております。主な増加要因は、現金及び預金の増加348百万円であり、主な減少要因は、棚卸資産の減少275百万円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は2,962百万円で、前連結会計年度末に比べ56百万円減少しております。投資その他の資産の減少39百万円、有形固定資産の減少19百万円が主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は4,515百万円で、前連結会計年度末に比べ1,139百万円増加しております。主な増加要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加1,209百万円、支払手形及び買掛金の増加553百万円、前受金の増加277百万円であり、主な減少要因は、短期借入金の減少958百万円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は656百万円で、前連結会計年度末に比べ1,323百万円減少しております。長期借入金の減少1,328百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,964百万円で、前連結会計年度末に比べ198百万円増加しております。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加421百万円であり、主な減少要因は、自己株式の増加200百万円、その他有価証券評価差額金の減少27百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経営成績と今後の業績動向を考慮した結果、2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期通期連結業績予想を修正いたします。

なお、詳細につきましては、本日（2022年2月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	903,481	1,251,783
受取手形及び売掛金	1,352,529	1,392,792
商品及び製品	17,877	98,908
仕掛品	1,656,829	1,291,319
原材料	10,723	19,413
その他	160,721	118,871
流動資産合計	4,102,163	4,173,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	473,591	447,616
土地	1,389,338	1,389,338
その他(純額)	468,979	475,931
有形固定資産合計	2,331,909	2,312,885
無形固定資産		
その他	7,957	9,988
無形固定資産合計	7,957	9,988
投資その他の資産		
投資有価証券	476,322	434,356
その他	217,732	220,607
貸倒引当金	△14,958	△14,958
投資その他の資産合計	679,096	640,005
固定資産合計	3,018,962	2,962,880
資産合計	7,121,125	7,135,969
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,391,566	1,945,491
短期借入金	1,120,546	162,171
1年内返済予定の長期借入金	238,116	1,447,662
未払法人税等	—	4,135
製品保証引当金	41,627	34,072
前受金	374,342	651,629
その他	209,992	270,229
流動負債合計	3,376,192	4,515,392
固定負債		
長期借入金	1,535,211	207,000
繰延税金負債	138,794	124,367
退職給付に係る負債	269,784	288,744
資産除去債務	33,950	34,284
その他	2,160	2,160
固定負債合計	1,979,900	656,556
負債合計	5,356,093	5,171,948

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	928,930	928,930
利益剰余金	499,132	920,398
自己株式	△30,401	△230,499
株主資本合計	1,497,661	1,718,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	265,994	238,060
為替換算調整勘定	1,376	7,130
その他の包括利益累計額合計	267,371	245,191
純資産合計	1,765,032	1,964,020
負債純資産合計	7,121,125	7,135,969

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	4,735,753	5,034,558
売上原価	3,801,574	4,028,366
売上総利益	934,178	1,006,191
販売費及び一般管理費		
販売手数料	23,381	25,865
荷造運搬費	48,694	67,588
役員報酬	71,673	83,700
従業員給料	122,068	123,511
従業員賞与	26,890	33,225
退職給付費用	5,680	5,689
その他	198,531	234,964
販売費及び一般管理費合計	496,920	574,545
営業利益	437,258	431,646
営業外収益		
受取利息	94	57
受取配当金	8,443	10,896
物品売却益	4,225	6,324
不動産賃貸料	2,385	2,385
その他	3,705	5,520
営業外収益合計	18,852	25,183
営業外費用		
支払利息	29,755	21,173
支払手数料	5,199	4,914
その他	3,954	7,492
営業外費用合計	38,909	33,581
経常利益	417,201	423,248
特別利益		
固定資産売却益	29,955	2,532
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	29,956	2,532
特別損失		
固定資産除却損	16	63
特別損失合計	16	63
税金等調整前四半期純利益	447,140	425,717
法人税、住民税及び事業税	1,219	4,491
法人税等調整額	46	△40
法人税等合計	1,265	4,450
四半期純利益	445,874	421,266
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	445,874	421,266

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	445,874	421,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	108,583	△27,933
為替換算調整勘定	△590	5,753
その他の包括利益合計	107,993	△22,179
四半期包括利益	553,867	399,086
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	553,867	399,086
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

当社は、2021年5月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式168,200株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、単元未満株式の買取による増加を含め自己株式が200,098千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が230,499千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、一部の取引について、従来は製品の出荷時点で収益を認識しておりましたが、顧客が当該製品に対する支配を獲得したと認められる時点で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に与える影響はありません。

また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。